

●2002年8月23日

アンジェス MG(株)と リウマチ及び変形性関節症治療剤の共同開発に合意

生化学工業株式会社(代表取締役社長; 榎 史朗)はアンジェス MG株式会社(代表取締役 CEO; 村山 正憲)と、リウマチと変形性関節症領域におけるNFκB(エヌエフカッパービー)デコイを用いた関節注射剤の共同開発に関して合意いたしました。

これにより生化学工業は、アンジェス MGが主体となって進める医薬品開発事業に技術協力および資金協力し、その対価として、医薬品を上市した際の国内独占製剤供給権を取得いたしました。開発成果の販売交渉窓口はアンジェス MGが行うこととなっております。

NFκBは、核内で染色体に結合することにより、炎症の原因となるサイトカインや接着因子の過剰発現に関与する転写因子です。一方、NFκBデコイは、NFκBの染色体結合を抑制する働きを持ち、結果として炎症を抑える効果が期待できます。

アンジェス MGは、遺伝子治療用遺伝子医薬、核酸医薬及び新規ベクター等に関する研究開発を通して人類の健康に貢献すべく、1999年12月に設立されたバイオベンチャーで、HGF 遺伝子医薬品の基礎技術を開発した大阪大学を始めとする国内外の研究機関と協力し、その実用化に取り組んでいます。

生化学工業は複合糖質に特化した研究開発に注力し、世界で初めてヒアルロン酸を主成分とする変形性膝関節症治療剤を開発しております。また、2001年4月には新たな研究開発基本方針を策定し、かねてより厚い知見を持つ関節疾患を重点疾患として位置づけております。

自己免疫性炎症の代表的疾患であるリウマチや、変形性関節症において両社が有するノウハウは、NFκBデコイを用いた医薬品の開発に大きく寄与するものと確信しております。